

最優秀賞受賞にあたって

福島県猪苗代町立東中学校 わたなべ まき こ
渡部真喜子

この度は、このように大きな賞をいただき、おこがましくも光栄なこととして大変感激しております。

今回の受賞にあたり、一番感激したことは、自分以外に喜んでくれる方々が多くいらっしまったことです。「おめでとう」と言ってくださる笑顔を拝見し、うれしさがこみ上げた次第です。

本論文は、福島県教育委員会の委託（文部科学省委託）を受け、英語指導力向上事業として「CAN-DOリストを活用した授業の展開～生徒の英語力・学習への動機付けを高める指導～」をテーマに取り組んできた内容です。

学校現場では、評価規準をベースに生徒の力を判断することがほとんどです。そこに、CAN-DOリストの「自分で自分の力を認識する」考え方が加われば、学習意欲を高める有効なツールになるのではと考えました。

生徒が身近に使う形式にすることで、形骸化が回避され、生徒と教師が同じ目標を共有でき、生徒の英語力、教師の授業力の向上の一助に役立つ有効な手段になり得ることが見えてきました。

生徒たちが生き生きと学び、自分自身で「伸び」を実感している様子は、教師にとって何ものにも代え難い喜びでもあります。ボーダレス

化が加速する社会において、英語をコミュニケーションツールの一つとして使うことができることは、より豊かにたくましく生きていく手段が増えることにつながります。無限大の可能性を秘めた生徒たちの成長に携わることができる教師という仕事の意義深さを、今、改めて実感しています。

本研究における一番の「理解者であり協力者」は生徒たちです。生徒たちの前向きな発想と向上心、英語学習に対する意欲的な態度があったからこそ、なし得た過程と成果です。また、本校の教職員の皆さんの盤石なサポート体制も大きな原動力となりました。さらに、福島大学の佐久間康之教授、山形大学の金子淳准教授、宮城教育大学の鈴木渉准教授の各先生方、並びに福島県教育庁高校教育課・義務教育課・会津教育事務所の各先生方にご指導を受け、研究を進めることができました。猪苗代町教育委員会、各連携校の先生方のご理解・ご協力もいただき、研究の推進と強化を図ることもできました。

家族はもとより、生徒、保護者の皆さん、支えてくださっているたくさんの方々が、惜しみなく協力してくださったおかげです。関わっていただきました全ての人に感謝しつつ、今後も自ら学び続け、英語教育の充実と発展のために尽力していきたいと思います。